



コッパくんの

お宅訪問

『蔵と古家具が生きる 田舎暮らしの平屋の家』

～S様ご家族～ 竣工：H27年4月
ご夫婦お二人 敷地面積：920.19㎡ (278坪)
飯島町在住 延床面積：86.12㎡ (26.05坪)



蔵や松の木、竹藪に囲まれた敷地にしっかりと馴染む、素朴な味わいのある外観。



ご夫婦セレクトの古道具や土地の草花が住まいに彩りを添える。

Iターンのきっかけは？

ご主人 以前は横浜に住んでおり、実家の名古屋へ帰郷するため長野県はよく通過していました。たまたま天気の良い日に中央道を走っていたら、高速から見える伊那谷の美しさにはっとして、思わず駒ヶ根ICで途中下車。駒ヶ根、飯島、伊那、箕輪とゆっくりドライブしながら、**南アルプスと中央アルプスの雄大さ、そして伊那谷の空の広さと青さに魅了されました。**

奥様 退職後はどこかで田舎暮らしを、と考えていたので、それなら伊那谷がぴったりだということで決めました。名古屋にも帰りやすく、比較的雪も少なく暖かですわね。

この土地も雰囲気があって素敵ですね！

奥様 ネットでいくつか見る中で、土蔵が遺されたこの土地が気になって。早速見学したところ、集落の端にあるひっそりと落ち着いた広い敷地に、竹藪、石積み、松の木、土蔵があり…。私がすっかり気に入ってしまい決めました。敷地内にあったスギの木も新居の柱に使ってもらえ、**土地に根付いた家づくりができて満足**しています。

ご主人 ご近所付き合いも楽しんでいますよ。高齢化した地域ですが、新しい人間が入ってくることを快く受け入れてくれたご近所の皆さんには、本当に感謝しています。野菜のおすそ分けをもらったり、お茶を飲みに立ち寄ってくれたり、気持ちよく付き合っています。

プランニングのポイントは？

奥様 大切にしたいポイントのひとつは、外観です。この地域や土地の雰囲気を壊さないよう、新築っぽくなくずっと昔から建っているような…、今にも崩れそうなイメージの家にはしたいとお願いしました(笑)。希望通り、**土地にそっと置いたような素朴な外観で、隣に建つ土蔵にもよく似合うデザイン**にさせていただきました。

ご主人 あとは、以前から趣味で集めている古家具があったので、それが映えるような空間にしたかったです。古家具と言っても、リサイクルショップで格安で手に入れたものが多く、色を塗り直したり磨いたりを楽しんでいます。**無垢の木と塗り壁ですっきりとまとまった空間は、自分たち好みの小物で表情が変えられるので、それも暮らしの楽しみ**のひとつですね。年月を重ねて、さらにこの土地に馴染む建物に育てていけると感じています。

Iターン後の暮らしはいかがですか？

ご主人 やることがいっぱいですよ！薪割りに、畑に、今までとはまったく違う生活ですね。敷地内に元からある茶畑で摘んだお茶も格別です。玄関先にはツバメが巣を作って、ヒナもかえり巣立つまでを見守り、楽しませてもらいました。ダイニングテーブルでは向かい合わず、**二人で横に並んで南の風景を見ながら食事をします**。タベも二人でジャズを聴きながらお酒を楽しみました。

奥様 隣の土蔵は自分たちで手を入れて、**念願のカフェをオープン**しました。地元・飯島産のそば粉を使ったガレットなど、皆さんに親しんでいただければと思っています。



“イエルカ”の薪ストーブは和の家に似合う愛らしい佇まい。



よく手入れされた道具類から心豊かな暮らしが垣間見える。



ご夫婦で少しずつ手を入れて、この秋オープンした蔵のカフェ。Jazzの音色が流れる店内で、古家具や四季の草花を楽しむ、心地よい空間。



営業担当の後町さん、S様邸のポイントは！



信州らしい家づくりのための、当社の「**設計デザインコード**」に強く共感していただいたS様。信州の四季を、信州よりも敏感に楽しんで暮らしていらっしゃいます。

定年退職後の暮らしにゆとりが持てるよう、無駄をそぎ落としたコンパクトな広がり間取りをご提案しました。「広くはないけれど、必要十分」とおっしゃるS様の暮らしは、“優雅”という形容がぴったりに感じられるほど本当に豊か。**信州でのセカンドライフのお手本です！**